

わが家の地震対策

大地震が発生すると…。もしものケースを想定して自分の家でもできることを考えて、対策を！

家の中の安全対策

1 逃げる場所を確保し安全な空間をつくる

複数の部屋がある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるように考える。



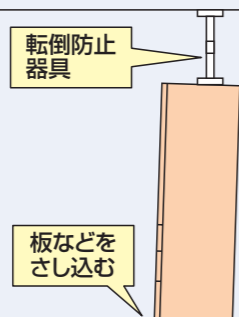
2 子どもやお年寄りのいる部屋や寝室には家具を置かない

寝ている間に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。



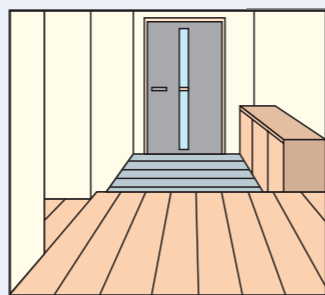
3 背の高い家具の転倒や落下を防ぐ

タンスなどの家具と壁や柱の間に空間があると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱に寄りかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止対策を万全に。



4 すばやく避難できるように、出入口や通路にもものを置かない

出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうこともある。



家の周囲の安全対策

窓ガラス

市販の飛散防止フィルムをはる。

ベランダ

常に整理整頓を。落ちる危険があるので何も置かない。

安全なブロック塀の目安

- 鉄筋はきちんと入っているか。
- 基礎はしっかりしているか。
- 控え壁は設置されているか。
- すかしブロックや面とりブロックなどの化粧ブロックはできるだけ使用しない。
- 傾きやひび割れ、破損箇所などはないか。
- 盛り土や土止めになっていないか。
- 新たにつくるときはより安全な生け垣やネットフェンスにする。

屋根

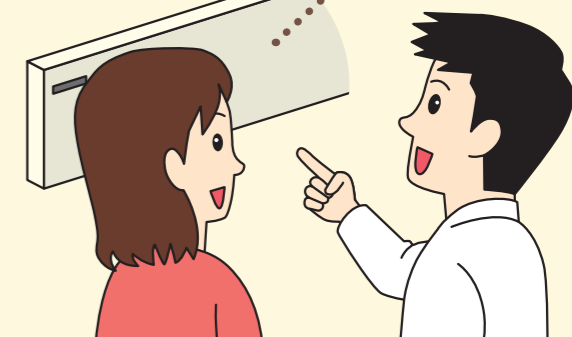
屋根のアンテナや、屋根瓦は補強し不安定になっていないか確認する。

プロパンガス

ボンベをチェーン・ワイヤーなどの金具でしっかり固定しておく。

ブロック塀・門柱

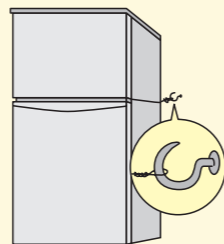
土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。



家具の転倒・落下を防ぐポイント

タンス・本棚

金具や固定器具、支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。

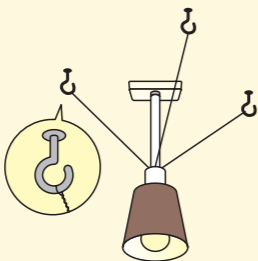


冷蔵庫

2ドアや3ドアの場合は、扉と扉の間にチェーンやワイヤーなどを巻いて、金具で壁に固定する。

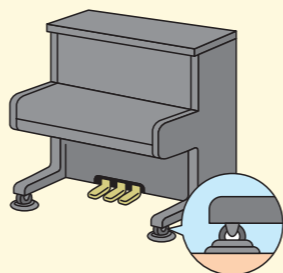
照明器具

チェーンやワイヤー等の金具を使って数箇所とめる。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープでとめる。



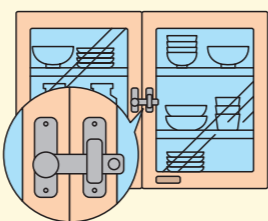
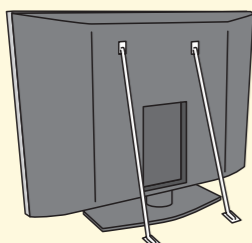
ピアノ

ピアノにナイロンロープなどを巻きつけ、金具で固定する。脚には、滑り止めを。



テレビ

低い位置にチェーン・ワイヤーなどの金具を使って固定(テレビ台等の移動防止措置も忘れずに)。



食器棚

金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下に、軽い食器は上に。扉が開かないように止め金具をつける。

家庭で防災について話し合おう

地震災害は突然に襲ってきます。被害を最小限に食い止めるためには、日ごろの備えが大切です。家族そろって防災会議を開き、災害から身を守る方法話し合っておきましょう。

家族の役割分担を決める

災害が起こった時を想定しての役割と日ごろの防災の役割の両方を決めておく。



家の周りの安全性をチェック

家の内外をチェックして危険箇所を確認し合う。

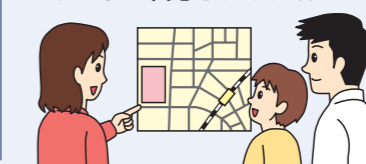


ペットについて考える

災害に備え、普段から人やほかの動物を怖がらない、嫌がらずにゲージに入る、トイレは決められた場所です、などのしつけをしておきましょう。

家族での連絡方法や避難場所の確認

- 仕事や学校で災害が起こった時の連絡方法や避難場所を確認する。
- 家族で離れ離れになった時の集合場所など、休日などを利用し、みんなで下見をしておく。



非常持出品の確認

必要な品がそろっているかチェックするとともに、新しいものと取り替えも忘れずに。



P.31参照。

2015.12.30